

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゅ〜す
<https://japan.otakaranews.com>

じゃぱんお宝にゅ〜す

モノづくり現場の未来を見つめる
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！

brother
at your side

西安工場でコンパクトMC生産開始

中国国内向けコンパクトマシニングセンタ SPEEDIO「W1000Zd1」の生産をスタート 市場の要求に応え、短納期納品が可能に

中国でSPEEDIO W1000Zd1 生産

ブラザー工業株式会社は、中国・西安市にある同社の製造子会社である「ブラザーマシナリー(西安)」(西安工場)において、9月から工作機械SPEEDIOシリーズのW1000Zd1(日本生産モデル名：W1000Xd1)の生産を開始した。

これによりW1000は中国向けに今まで以上に短納期での納品が可能になる。

現地需要に 短納期対応

現在、ブラザーの西安工場では、中国国内向けの工作機械と全世界向けの工業用マシンが生産されている。

2021年3月には、工作機械需要の増加に合わせて既存の工場棟を増築し、同工場における工作機械の生産能力を従来比約2倍にするなど、中国国内の顧客に向けてより迅速に納品できる生産体制を構築してきていた。

西安工場では今回生産を開始したW1000Zd1以外に、S500Z2、S700Z2、R450Z1が生産されている。

立形30番MC最大級の 加工エリアで多様な 高精度部品加工に対応

ブラザー工業のW1000は、立形30番マシニングセンタでは最大級の加工エリアを持ち、大型部品の加工を可能にする。

生産を開始したW1000Xd1は、新しいNC装置を搭載した最新モデルで202



0年12月に販売を開始している。現在ではすべて刈谷工場(愛知県刈谷市)で生産されており、これまで中国国内向けにも刈谷工場で生産し、出荷していた。

中国ではEV向けなどで大型の部品加工需要が増えており、大きな加工エリアを持つW1000の引き合いは増えている。今後、中国国内向けには西安工場でも生産して出荷できるため、顧客へのリードタイムの短縮が可能となる。

ブラザーでは、今まで以上に短納期での納品が可能となることで、中国国内の顧客に対する営業活動も強化していく。

(※資料提供：ブラザー工業)

